

竹田 ゆかり

市政通信

〒248-0024 鎌倉市稲村ガ崎 5-31-11 連絡先 090-3535-4474

E-mail yukari.ain@gmail.com 「通信」という言葉には交流・ふれあいの意味があります

学校の働き方改革は

現場が実感できることを！

一般質問より

文科省が二〇一六年に実施した教員勤務実態調査結果から小学校で約三割、中学校で約六割の教員が過労死ラインに達していることが分かり、通信十

七五でお知らせしました。鎌倉市では昨年六月に同様の調査が行われましたが、調査結果からどのような実態が把握

されたか。その結果を受けて教育委員会が現在進めている取り組みについて質問しました。

答弁から、鎌倉市の小中学校においても、全国調査同様、時間外勤務、休日出勤、持ち帰りによる仕事に追われている実態が明らかにされました。

また教育委員会として、学校の現場の多岐にわたる業務が、勤務時間外にまで及んでいる実態を改善することが課題である。教職員が時間や気持ちに余裕をもつてしっかりと子どもに向き合うことが大切である」との考えが示されました。

また、教職員は特に様々な調査等の書類作成、小学校では給食会計事務、中学校では土日の部活動に負担を感じていること、具体的な改善策として『定数改善はじめ、人的支援の拡充』を求めていることが自由記述内容から明らかに

なりました。

教育委員会内に設置された「学校職場環境改善検討会」での検討結果は今年度中に報告されることですが、学校の現場の声を十分吸い上げるこ

と。形だけの業務改善ではなく、教職員にとって、時間にゆとりが持てた、子どもと向き合う時間が確保できた、本来の業務に時間が取れるようになった』と実感できるような業務改善となるよう「求めました。特に来年度から移行期間として実施される小学校英語科については、専科教諭の増員を重ねて強く求めました。

副流煙を浴びていませんか？

12月25日 タバコの煙の流れ調査をしました

大船駅東口を出てルミネ側のペDESTリアンデッキから反対側の歩道に降りる階段下の喫煙所について、以前より市民の方々から苦情を頂いており、環境保全課に対応を求めてきました。

階段の踊り場を過ぎたところから、たばこの煙の臭いがし始め、立ち上る煙が見えてきます。これでは階段を利用する通行人は、副流煙をまともに吸い込むこととなります。

そこで「煙の流れの調査」を市の環境保全課に依頼したところ、やっと昨年12月25日10時からの現地調査が実現しました。

この日の風は「北東の風1m~2m」にもかかわらず、ビル風のせいかな南風で、喫煙所から立ち上る煙が、調査をしている間中(1時間)、通行人にあたっていました。

現地調査を終えて担当職員から「確かに、階段を利用する通行人に煙が流れている。改善策についてはコスト面も含めた検討をしたい。やるからには効果的な方法を

検討したい」との説明がありました。

副流煙には、主流煙に比べてニコチンが2.8倍、タールが3.4倍、一酸化炭素が4.7倍も含まれています。自分の意思とは関係なく吸い込んでしまう「受動喫煙」は、様々な病気のリスクが高まる

ことが今社会問題になっています。早急な対応を求めました。



市民の安全確保のために

災害・事故・事件情報は届いているか？
一般質問より

10月27日午前4時10分、モノレール深沢駅付近のコンビニエンスストアで強盗事件が発生しました。しかし、市民安全課が注意喚起の安全情報メールを配信できたのが事件発生から5時間以上が過ぎた9時32分でした。鎌倉警察からは、近隣小学校に連絡(7時40分)があったとはいえ、登校時間、出勤時間の市民の安全を考えれば、もっと早く市民に情報配信できなかったのか、情報伝達の在り方について質しました。

市内で事件や事故が発生した場合、庁内での緊急時の連絡体制は整っているものの、夜間に発生した場合、警察から市役所(守衛室)に連絡が入るよう確認されていませんでした。早速、防犯連絡会の場で警察への確認をしていただきました。また、防災・安全メール配信対象者数は、現在23,741件とのことですが、メール受信手続きは高齢者にとってハードルが高く、本来最も情報を必要とする高齢者世帯・独居高齢者世帯・災害時要支援者の方々に届いていない可能性があります。受信を促す取り組みを求めました。

松尾市長の問責決議案に賛成しました！

12月議会で、「松尾市長に対する問責決議」が21対4で可決しました。

松尾市長は昨年10月11日(市長選挙告示4日前)、「新焼却施設建設候補地(山崎浄化センター未活用地)への建設に反対する住民の会」との話し合いの場で「ごみ処理については協議の枠を広げる。自区外処理・広域連携を考えていく」と説明しました。

その結果、反対する会の方々に「山崎では新焼却施設建設は行わない」との誤解を招き、混乱を生じさせることになりました。

選挙後の議会での質問に、市長は「山崎浄化センター未活用地に建設する計画に変わりはない」と弁明していますが、選挙直前の説明が、「自分に優位になるよう市民が動くこと」が十分予測できたはずであり、行政計画にはない方針を自分の選挙結果に利するよう説明した責任は重大であると考え、私は問責決議案に賛成しました。

通級指導教室は中学校にも必要！

一般質問より

鎌倉市には小学校通級指導教室はありますが、中学校にはありません。通級指導教室は、聞こえや言葉の発達に支援が必要なお子さん、対人関係や集団生活への適応を高める支援が必要なお子さんが通うことができます。

しかし、中学校に進学して引き続き支援が必要であっても、鎌倉市には中学生のための通級指導教室がありません。そのため、中学校に進学するにあたって、本人や保護者の方々が大変悩まれ、地域の中学校を断念して私学に進む場合があると聞いています。鎌倉市にも中学生のための通級指導教室設置を求めました。

(答弁) 昨今ニーズが高まっている。先進市の取り組みを研究し、検討していく。

「湘南ベルマーレホームタウン」になるにあたって…

関連質問より

湘南ベルマーレから、鎌倉市がホームタウンになることへの依頼があり、承諾するにあたってスポーツ課が作成した起案書(起案日9月26日)には、ホームタウンとなった場合の実施事業として、次のように書かれています。実施事業…(ア)鎌倉市内の小中学校16校における「巡回授業」の実施。

ところが、学校の授業にかかわることであるにもかかわらず、教育委員会には、何ら知らされていないことが質疑の中から分かりました。その問題性を指摘し、今後、学校現場との丁寧なやり取りのもと事業が実施されることを求めました。

市のコンプライアンスについて質問しました。

市では過去8年間に不祥事のために179人の職員が処分されています。一方、メンタル不調により休職する職員数も毎年県内で1位~2位を推移しています。市長は「不祥事に対しては断固たる措置を講じる」と述べており、その断固たる措置とは「処分を重くすることだ」と言い切っています。処分を重くすれば不祥事がなくなるのでしょうか。職員の声に真摯に耳を傾ける首長の姿勢が問われているのではないのでしょうか。

詳しくは市議会中継録画をご覧ください。